

平成22年第5回定例会一般質問通告書

通告 1 番 大 瀧 りう子 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 高齢者及び子どもの虐待防止の取り組みは

質問の相手 町 長

質問の要旨 当町の高齢化率は現在 29.3%で要介護者も年々増えている。全国的には、60歳以上の高齢者の自殺者が1万2千人と言われている現在、介護放棄や暴力行為などの高齢者に悲惨な虐待も報道されている。また、子どもに対する虐待も、7月に大阪で起こった1歳と3歳の幼児置き去り事件、暴力や食事を与えないなどの育児放棄によって子どもの命がうばわれるなど悲惨な事件も起きている。これらの弱者に対する取り組みが急がれるが、当町の実態と取り組みを伺う。

2 件目

質問事項 文化の香る町づくりを

質問の相手 町 長

質問の要旨 人はパンのみでは生きられない、豊かな文化にふれることによって人生がより豊かなものになると言われる。総合計画には「知性と豊かな心を育む町づくり」がうたわれている。町民のニーズに応えた、魅力ある文化活動が構築されているか検証する時期ではないかと考えるが、取り組みを伺う。

通告 2 番 鈴 木 春 光 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 廃校の入谷中学校校舎の解体はいつか

質問の相手 町 長・教 育 長

質問の要旨 平成21年3月31日をもって廃校になっている（荒砥小と清水小は解体済みであります）入谷中学校の校舎解体撤去はいつどの様な形を取るのか町長の考えを伺います。

2 件目

質問事項 町道松倉1号線、砂田寄羽沢線婆山線に関わる、用悪水路整備について

質問の相手 町 長

質問の要旨 用悪水路の老朽化、狭あい、草木の繁茂等により排水機能周囲環境に悪影響がでている。農業排水も含めた用悪水路整備について伺う。

通告 3 番 菅原辰雄 議員

質問方式 一問一答方式

1 件目

質問事項 高齢者も安心して暮らせる町づくりは

質問の相手 町 長

質問の要旨 当町も少子高齢化が進み高齢者世帯、独居老人世帯が増加している。お年寄りが誰にも相談できず、一人悩むことや、孤独死などのない、毎日安心して暮らせる環境づくりが必要と考える。現状をどう捉え、どのような対応・対策を講じていくのか。

2 件目

質問事項 活力ある町づくりの方策は

質問の相手 町 長

質問の要旨 町では集いと賑わいのあるまちづくりとして観光の町をアピールし、街の中は観光客の姿も見受けられる。近年グリーンツーリズムや教育旅行に目を向け、受け入れ体制づくりを推進し更に各種イベントの企画、支援を積極的に行っており、その効果も出ているものとする。しかし、現段階では観光関連業種への効果であり、他業種商店街として捉えた時、多様な政策、対策が必要と考える。観光の町、一次産業、商店街も活気溢れる町づくりのため、現状と課題をどう捉えどのような政策、対策を講じていくのか。

通告 4 番 山内昇一 議員

質問方式 総括質問方式

質問事項 本町の林業再生と関連産業振興策を伺う

質問の相手 町 長

質問の要旨 全国的に森林が荒廃し又同様に林業経営も低迷が続いている現状である。本町の有効な地域資源である森林とその林業経営も一部を除いて同様な状況で推移している。近年、世界的視野では各国の経済発展に伴い、地球規模の温暖化傾向で異常気象が発生して各種の災害発生や生物生態系の変化を含め、その影響が極めて大きい。環境を守る理念とエコロジー対策としてリサイクル有効資源の活用と環境破壊から自然環境保全が重要視されてきた。森林の機能がもたらす重要性が見直されて、その機運が高まりつつある。この時期を踏まえ、林業経営の立直しを図り、持続可能な林業経営の再生に向けた活性化対策は。併せて、地域資源の有効活用等林業策を伺う。又、宮城県環境税導入を見据えた本町の取り組みと関連産業振興で雇用創出に繋がる考えを伺う。

通告 5 番 千葉伸孝議員

質問方式 一問一答方式

質問事項 町として若者の働く場の確保と対策について

質問の相手 町長

質問の要旨 地元における若者の労働希望は事務員としての求職が多い。現在の町内の労働力としての求人は水産加工や電気製造が多く若い世代の将来を見据えた労働ニーズに応える企業誘致が求められる中で、町としての対策について伺う。

①町として若者ニーズに合った雇用の場として町の第三セクター設立の考えはないのか。

②働く場が町には少なく町外への若者の流出の歯止め策は。

③「指定管理者制度」「業務民間委託」に関して町外業者の参入にあたり、町民雇用に町として積極的な働きかけは。

④働く場の増加と労働力の若者定住は町税増へとつながる。町長は今後の町財政をどのように展望しているのか。